

# 事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされており、保護者様・来訪者様等の閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

## 東京都福祉サービス第三者評価(2025年度) 評価結果報告書

2026年2月28日

社会福祉法人森友会  
なかよしの森こども園 御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿西新宿8-14-24  
西新宿KFビル702

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構  
認証評価機関番号 機構 03  
電話番号 03-6279-0331  
代表者氏名 理事長 中込 重秋



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

| 評価者<br>(評価者養成講習修了者番号及び担当分野)                            | 修了者番号  |                  | 担当分野                                   |  |
|--|--|------------------|--|--|
|  | ①  | H1002063         | <input checked="" type="checkbox"/> 福祉 | <input type="checkbox"/> 経営            |
|  | ②  | H0702006         | <input checked="" type="checkbox"/> 福祉 | <input checked="" type="checkbox"/> 経営 |
|  | ③  | H0902065         | <input checked="" type="checkbox"/> 福祉 | <input checked="" type="checkbox"/> 経営 |
|  | ④  | H1001023         | <input checked="" type="checkbox"/> 福祉 | <input type="checkbox"/> 経営            |
|  | ⑤  |                  | <input type="checkbox"/> 福祉            | <input type="checkbox"/> 経営            |
|  | ⑥  |                  | <input type="checkbox"/> 福祉            | <input type="checkbox"/> 経営            |
| 福祉サービス種別   | 認定こども園   |                  |  |  |
| 評価対象事業所名称  | なかよしの森こども園   |                  |  |  |
| 事業所連絡先   | 〒  | 165-0022         |  |  |
|  | 所在地  | 東京都中野区江古田4-16-13 |  |  |
|  | TEL  | 03-5942-8816     |  |  |
| 事業所代表者氏名   | 中村 真由美   |                  |  |  |
| 契約日  | 2025年  | 8月               | 1日                                     |  |
| 利用者調査票配布日(実施日)   | 2025年  | 11月              | 15日                                    |  |
| 利用者調査結果報告日   | 2026年  | 1月               | 8日                                     |  |
| 自己評価の調査票配布日  | 2025年  | 11月              | 14日                                    |  |
| 自己評価結果報告日  | 2026年  | 1月               | 8日                                     |  |
| 訪問調査日  | 2026年  | 1月               | 14日                                    |  |
| 評価合議日  | 2026年  | 1月               | 14日                                    |  |
| コメント<br>(利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入) | ・利用者調査はインターネットでのウェブアンケート形態により、共通評価項目のほか、事業所と協議のうえ、独自の項目も設けて実施しました。<br>・開始時には書面やポスター等で保護者の理解促進を図るほか、開始後にも提出御礼・促進用のチラシを全対象者に配信・配付し、必要に応じ提出期限を延長するなど、回答率向上にも努めました。<br>・事業所には開始時の説明や補足資料等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、よりの確な自己評価実施に配慮しました。 |                  |  |  |

|   |   |
|---|---|
| 1 | <b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b>  |
|   | <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述<br/>                 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の調和的発達を促す。<br/>                     ⇒全ての子どもが、自分の流れで園生活を楽しむ。</li> <li>・基本的な生活習慣（食事・排泄・睡眠・着脱衣・清潔・挨拶など）の育成を進める。<br/>                     ⇒全ての子どもが、無理なく自立の道を歩む。</li> <li>・集団への参加と自主協調の態度を養う。<br/>                     ⇒全ての子どもが、異年齢集団との関わりによって協力・協働の喜びを知る。</li> <li>・正しい言語生活や自然・社会現象に対する興味と関心を育てる。<br/>                     ⇒全ての子どもが、自然・社会に積極的に関わる。</li> <li>・子どもらしい表現によって生きる力の基礎を培う。<br/>                     ⇒全ての子どもが、自分なりに表現を楽しんで発表する。</li> </ul> |
| 2 | <b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b>  |
|   | <p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <p>社会人として世の中の規範を守り、人には優しく常識的な行動をとるとともに、保育士として子どもたちに温かい心を持って丁寧に対応してもらいたい。主任・リーダー等の上位職にある人に関しては立場を自覚して、リーダーシップを持って各フロアの職員を率先して引っ張ってってもらいたい。経験の浅い職員は少しでも先輩の職員に近づこうとする意識を持ち、わからないことは質問し、自己研鑽に励んでもらいたい。</p>  |
|   | <p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>法人理念である「全ての子どもの最善の利益のために」を常に考えて子どもたちと接するとともに、子どもたちの自主性・自発性を促すことができる生活環境、遊びの環境、行事を行ってもらいたい。<br/>                 職員は「先生」と呼ばれることに対する自覚と責任を持ち、普段からの服装・態度・発言等を常に意識した行動を取り、他者との協調性を図り、保護者に信頼される人間関係の構築を行ってもらいたい。</p>   |

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯79(在籍児童数95)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数

95

利用者家族総数(世帯)

79

共通評価項目による調査対象者数

79

共通評価項目による調査の有効回答者数

53

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

67.1

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」37.7%・「満足」45.3%の計83.0%で、設問別では「子どもの興味・関心の伸長」「急な残業等への配慮」「子どもの気持ちの尊重」など、全18問中9問で80%台～100%の高い支持を得ている。自由意見では「先生方が子どもの自主性を尊重し、のびのびと成長できるよう、子どもたちのために頑張ってくれていることが伝わり、安心して預けられる」「縦割り保育でいろいろな子どもたちと関われる環境で、広い部屋にたくさんの玩具など、子ども自身が好きな遊びを見つけて自ら遊び、また先生たちは子どもの気持ちを考え、寄り添って保育をしてくれている」「園庭・保育室の環境や給食も充実していて、子どもが楽しく過ごせており、子ども園であることもあり、保育時間や決まりごと柔軟に対応してくれ、とても助かっている」「食育含め食事に対する満足度は高く、英語や課外学習なども以前より増えており、優れていると思う」「園庭があり、いろいろな年の子と関わりがある点もよい」などをはじめ、さまざまな称賛・感謝の声が寄せられている。要望などとしては、子どもの様子の報告・発信や保育・行事、安全・保健に関することなどが見られた。

利用者調査結果

| 共通評価項目  | 実数 |           |     |            |
|---|----|-----------|-----|------------|
|   | はい | どちらともいえない | いいえ | 無回答<br>非該当 |
| コメント  |    |           |     |            |
| 1. 運動や休息の配分は、子どもの発達の状態や在園時間に応じて工夫されているか   | 40 | 10        | 0   | 3          |
| 実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が20.0%となっている。自由意見は6件で、「自宅でのリズムが乱れることなく過ごせている」「園へ行った日は早く眠くなっているが疲れ過ぎている感じはしない」「基本的には園での遊びに満足していると思う」のほか、子どもの発達状態に応じた活動内容等について、気になる点や要望が挙げられている。              |    |           |     |            |
| 2. 園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか  | 45 | 7         | 0   | 1          |
| 「はい」が86.5%、「どちらともいえない」が13.5%となっている。自由意見は3件で、「個性・主体性に長けていると感じる」のほか、要望としては、活動内容等に関する声が寄せられている。  |    |           |     |            |
| 3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか   | 43 | 5         | 0   | 5          |
| 「はい」が89.6%、「どちらともいえない」が10.4%となっている。自由意見は5件で、「園であったことを家で話してくれ、園での経験が興味の広がりに役立っているようだ」「共同を強要せず、興味・関心に寄り添ってくれている」「園では砂遊びや車や電車の玩具など、好きなもので遊べる環境である」「バスでのお出かけはいつも楽しみしているようだ」のほか、子どもの興味・関心の伸長について、気になる点を挙げる声が寄せられている。 |    |           |     |            |

|   |    |    |   |   |
|---|----|----|---|---|
| 4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか   | 43 | 6  | 1 | 3 |
| 「はい」が86.0%、「どちらともいえない」が12.0%、「いいえ」が2.0%となっている。<br>自由意見は9件で、「毎日おかわりか完食をしているようなのでありがたい」「よく食べている」「食事がとてもおいしいと子どもが毎食楽しみにしていて、工夫していると思う」のほか、要望などとしては、食事の内容や果物の提供に関する声が寄せられている。   |    |    |   |   |
| 5. 園の生活の中で、身近な自然や社会と十分関わっているか   | 29 | 11 | 8 | 5 |
| 「はい」が60.4%、「どちらともいえない」が22.9%、「いいえ」が16.7%となっている。<br>自由意見は8件で、「年齢が上がるにつれ園外活動が増えていてありがたい」のほか、要望などとしては、行事や戸外活動等の充実に関する声が寄せられている。  |    |    |   |   |
| 6. 保育時間の変更が急きょ必要になった場合、開園時間内において、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思うか   | 48 | 0  | 0 | 5 |
| 有効回答者48人全員(100%)が「はい」となっており、「はい」の値は前回(2022年度・以下同、85.7%)からさらに上昇している。<br>自由意見には「柔軟に対応してくれているので助かる」「子どもの体調や気持ちによって時間通りにいかない日もあり、登園退園時間に非常に柔軟に対応してくれて助かっている」「土曜日の急な利用となった際、快く承諾してくれた」「いつもこちらの相談にも乗ってくれて助かる」の4件が寄せられている。 |    |    |   |   |
| 7. 安全対策が十分取られていると思うか  | 37 | 9  | 4 | 3 |
| 「はい」が74.0%、「どちらともいえない」が18.0%、「いいえ」が8.0%となっており、「はい」の値は前回(45.9%)から顕著な改善が見られる。<br>自由意見は7件で、「施設、受け入れ時の他園児の見守り、掃除が行き届いていて、安心している」「きちんと報告してもらえらるため安心できる」のほか、保育中の安全管理や設備面・衛生管理等について、気になる点や要望が挙げられている。                      |    |    |   |   |
| 8. 園の活動に保護者が参加しやすいよう、工夫されているか   | 41 | 9  | 2 | 1 |
| 「はい」が78.8%、「どちらともいえない」が17.3%、「いいえ」が3.8%となっている。<br>自由意見は5件で、「職員は大変だと思うが、行事の土曜日開催、保護者会の夕方の開催はありがたい」「イベントは土日にしてもらえている」「土日開催は助かっている」のほか、要望などとしては、行事の日程の設定・連絡における各家庭への配慮に関する声が寄せられている。                                   |    |    |   |   |
| 9. 子どもの教育・保育について家庭と園に信頼関係があるか   | 33 | 13 | 3 | 4 |
| 「はい」が67.3%、「どちらともいえない」が26.5%、「いいえ」が6.1%となっている。<br>自由意見は8件で、「相談しやすく、とても心強い」「あると思う」「経験年数が長めで相談に乗ってくれる人が多くありがたい」のほか、日頃の子どもの様子の伝達・報告、コミュニケーション機会の確保等について、気になる点や要望が挙げられている。  |    |    |   |   |
| 10. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか  | 39 | 11 | 3 | 0 |
| 「はい」が73.6%、「どちらともいえない」が20.8%、「いいえ」が5.7%となっている。<br>自由意見は7件で、「とても清潔だ」「いつも清潔感に満ち溢れていて、植え込み・玄関・廊下すべてにおいて整頓され、掲示物や配置も常に目を配っているのが伝わってくる」「整理整頓されている」のほか、要望などとしては、清掃や衛生管理等に関する声が寄せられている。                                    |    |    |   |   |

|   |    |    |   |    |
|---|----|----|---|----|
| 11. 職員の接遇・態度は適切か  | 47 | 6  | 0 | 0  |
| <p>「はい」が88.7%、「どちらともいえない」が11.3%となっている。<br/> 自由意見は4件で、「指導が行き届いていて素晴らしく、園児への声かけや職員同士の会話も不快に思う点がない」「とても感じがいい」「多くの先生は親切で、服装や髪色など、先生の個性と自由が守られているのでいいと思う」のほか、職員の接遇等について、気になる点を挙げる声が寄せられている。</p>  |    |    |   |    |
| 12. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか  | 47 | 4  | 2 | 0  |
| <p>「はい」が88.7%、「どちらともいえない」が7.5%、「いいえ」が3.8%となっている。<br/> 自由意見は7件で、「連絡のタイミングと説明が的確で、複数担任制だが体調についてお迎え時に共有されてスムーズであり、なかなかできることではないので驚いた」「ケガの際は状況を細かく説明し、一報の連絡をくれ、病院の対応等もしっかりしており、熱がありそうな時も連絡が早いので、仕事の調整が早めに対処できる」などのほか、ケガや体調不良等の把握・対応、保護者への連絡について、気になる点を挙げる声が寄せられている。</p> |    |    |   |    |
| 13. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか   | 27 | 7  | 3 | 16 |
| <p>「はい」が73.0%、「どちらともいえない」が18.9%、「いいえ」が8.1%となっており、「はい」の値は前回(55.6%)から改善されている。<br/> 自由意見は5件で、「先生の雰囲気や素敵である」「先生にもよると思うが、信頼している先生がいるので心配はしていない」のほか、要望などとしては、子ども同士のトラブル等の把握・対応や保護者への報告・説明について、気になる点を挙げる声が寄せられている。</p>   |    |    |   |    |
| 14. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか   | 47 | 5  | 0 | 1  |
| <p>「はい」が90.4%、「どちらともいえない」が9.6%となっている。<br/> 自由意見は6件で、「親がイライラしていても、先生が親の気持ちを汲み取り子どもに接してくれ、いつも素敵だと尊敬している」「とても大切にしてくれている」「いいことだけでなく、いたずらや拒否といった感情も汲み取ってくれていると感じる」のほか、子どもの心情に寄り添った対応について、気になる点を挙げる声が寄せられている。</p>   |    |    |   |    |
| 15. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか  | 37 | 5  | 0 | 11 |
| <p>「はい」が88.1%、「どちらともいえない」が11.9%となっている。<br/> 自由意見には、プライバシー保護等への配慮について、気になる点を挙げる内容が1件寄せられている。</p>   |    |    |   |    |
| 16. 教育・保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか  | 38 | 11 | 3 | 1  |
| <p>「はい」が73.1%、「どちらともいえない」が21.2%、「いいえ」が5.8%となっている。<br/> 自由意見は5件で、「保護者会で丁寧に説明してくれた」「概ね説明してくれている」「概ねわかりやすく話してくれている」のほか、子どもの成長・発達や日頃の生活、保育内容等に関する保護者との共有について、気になる点や要望が挙げられている。</p>  |    |    |   |    |
| 17. 利用者の不満や要望は対応されているか  | 34 | 9  | 1 | 9  |
| <p>「はい」が77.3%、「どちらともいえない」が20.5%、「いいえ」が2.3%となっている。<br/> 自由意見は8件で、「相談に乗ってくれる」「不満がない」のほか、保護者が不満・要望等を伝える機会の確保、傾聴姿勢や柔軟な対応について、気になる点や要望が挙げられている。</p>  |    |    |   |    |

|   |    |   |   |    |
|---|----|---|---|----|
| 18. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか  | 22 | 2 | 5 | 24 |
| 「はい」が75.9%、「どちらともいえない」が6.9%、「いいえ」が17.2%となっており、「はい」の値は前回（39.1%）から顕著な改善が見られる。<br>自由意見には「困ったことがない」の1件が寄せられている。 |    |   |   |    |

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

|     |  |  |
|-----|--|--|
| No. | 共通評価項目   |  |
|     | カテゴリー1   |  |
| 1   | リーダーシップと意思決定   |  |
|     | サブカテゴリー1(1-1)  |  |
|     | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている  | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>   |
|     | 評価項目1<br>事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float:right">評点(〇〇)</span>   |  |
|     | 評価   | 標準項目   |
|     | ●あり ○なし  | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right">○非該当</span>                               |
|     | ●あり ○なし  | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right">○非該当</span>                        |
|     | 評価項目2<br>経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float:right">評点(〇〇)</span>   |  |
|     | 評価   | 標準項目   |
|     | ●あり ○なし  | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right">○非該当</span>                            |
|     | ●あり ○なし  | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float:right">○非該当</span> |
|     | 評価項目3<br>重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float:right">評点(〇〇〇)</span>  |  |
|     | 評価   | 標準項目   |
|     | ●あり ○なし  | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float:right">○非該当</span>  |
|     | ●あり ○なし  | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right">○非該当</span>   |
|     | ●あり ○なし  | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float:right">○非該当</span>                                       |
|     | カテゴリー1の講評  |  |
|     | 法人共通の保育理念・目標等やその具体的な実践を、さまざまな形で保護者に伝えている<br>法人の保育理念を「すべての子どもの最善の利益のために」とし、その具現化に向け、子どもの心身の調和的発達や基本的生活習慣の育成など5つの保育目標や、実践の柱とする異年齢の関わりや子どもが自ら選び、自発的に取り組める活動や環境の設定、子どもを認め、誉めることを基調とする関わり、表現・食育などの諸活動を、系列全園で掲げている。保護者にはこれらを、見学・入園時の説明や、毎月の各便りなどの発信・掲示物、保護者会や保育参加などの交流・体験の場などを通じ、具体的な保育内容とともに伝え、共通理解の形成に努めている。<br>目指すものの具現化に向け、職員への理念等の周知や組織の方向性の共有が図られている<br>上記の法人共通に目指す保育や園運営のあり方は、職員には入職時に理解と実践が促されるほか、その後のさまざまな研修を通じ、実践を通じて理解が深められている。また日々の園内の会議で、折に触れて経営層がこれらの法人の保育者としての基本に関する啓発を行うほか、こうした法人の目指す保育のあり方を体現するうえで必要な心構えを、年間及び月別の目標として定め、組織内で共有する取組もなされている。園の運営や保育などにおける各種重要案件の検討・決定は、全体・フロア及びリーダー層の各会議で、議題や緊急性にに応じてなされている。<br>意思決定と関係者への周知の仕組みを整え、運営全般で現場の主体性を尊重している<br>園長・主任及び各フロアリーダーが、経営層として現場の統括を担い、随時の話し合いやリーダー会議で、必要な検討・決定を行っている。また常勤者による職員会議と各階でのフロア会議を毎月設け、併せて意思決定の場としている。各会議の不参加者には、議事録や各階の連絡用ノート等で必要な情報を周知させ、保護者には主にアプリでの配信により、各種の重要事項を伝えている。各職員が自発的に創意工夫する、自走力の高い組織づくりを目指し、園運営の各場面で現場の主体性の尊重に努めており、上記のリーダー会議は園長以外のメンバーで行っている。 |  |

| カテゴリ2                                      |   |                      |
|--|---|----------------------|
| 2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行               |   |                      |
| サブカテゴリ1(2-1)                               |   |                      |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している          |   | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6 |
| 評価項目1<br>事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している |   | 評点(000000)           |
| 評価   | 標準項目  |                      |
| ●あり ○なし                                    | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | ○非該当                 |
| ●あり ○なし                                    | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している                             | ○非該当                 |
| ●あり ○なし                                    | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している                        | ○非該当                 |
| ●あり ○なし                                    | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している        | ○非該当                 |
| ●あり ○なし                                    | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している                                   | ○非該当                 |
| ●あり ○なし                                    | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している               | ○非該当                 |

| サブカテゴリ-2(2-2)   |   |                  |
|---|---|------------------|
| 実践的な計画策定に取り組んでいる  |   | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 |
|   |   | 5/5              |
| <b>評価項目1</b><br>事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している   |   |                  |
|   |   | 評点(〇〇〇)          |
| 評価  | 標準項目  |                  |
| ●あり ○なし   | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している                              | ○非該当             |
| ●あり ○なし   | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している  | ○非該当             |
| ●あり ○なし   | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている  | ○非該当             |
| <b>評価項目2</b><br>着実な計画の実行に取り組んでいる  |   |                  |
|   |   | 評点(〇〇)           |
| 評価  | 標準項目  |                  |
| ●あり ○なし   | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | ○非該当             |
| ●あり ○なし   | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる                                    | ○非該当             |
| カテゴリー2の講評   |   |                  |
| 運営・重点事業や実務に関する各期間の計画や、年度の予算が作成・実行されている<br>年度の事業計画に、運営及び組織、保育・食事及び安全・保健、人材育成・保護者支援、施設整備などの各分野で、年間の「重点事業」を定めている。また予算の作成・管理など、経営状況の把握・検討は園長が担い、法人内の園長会で法人や系列各園と状況を共有している。事業計画中の保育をはじめとする各業務分野では、年間及び短期の目標・ねらいや具体的な取組内容等を各期間の計画に定め、現場で実行している。法人単位では、内外の状況を踏まえた「最重点課題」と取組事項、目標水準や達成の時期を示す「中長期・短期事業計画」が作成されている。 |   |                  |
| 保護者の声を積極的に収集し、職員の意向とともに、運営や計画立案等に活かしている<br>保護者の意向を、日々の個別の傾聴のほか、保護者会や行事後のアンケート等で収集し、運営や保育・行事などの実践や計画作成等の参考としている。アンケートによる意向収集はその他にも随時行っており、訪問調査時にも保育活動や行事に関する質問を設定して行った集計結果が掲示されていた。また第三者評価受審時の利用者調査も参考とするほか、法人が受審年度以外にも法人がアンケートを実施し、満足度の評価や意見・要望等を収集する仕組みが設けられている。職員の意向は各会議や定例・随時の面談、日頃の業務内外の会話などから把握している。 |   |                  |
| 地域ニーズや行政・業界の動向など、事業環境に関する情報収集にも取り組んでいる<br>見学や一時保育・子育て広場事業等で来園する未就園家庭の声から、身近な地域ニーズを探るとともに、中野区の私立保育所園長会や、地域内の保育・教育機関等が集う各会議に参画し、区内・地域内の子育てや保育・教育などの状況を把握している。また関連する行政の政策・制度の動向や、業界内の種々の話題を、区の園長会等の各種会議や、法人内の系列園園長会、各種報道・自治体の各種通達等から把握している。区・地域内の入園ニーズが縮小傾向にある中でも求められ続ける園であるべく、地域へのより積極的なアプローチのあり方を模索している。   |   |                  |

| 3 カテゴリー3   |  |                       |
|--|--|-----------------------|
| 3 経営における社会的責任  |  |                       |
| サブカテゴリー1(3-1)  |  |                       |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる                     |  | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2 |
| 評価項目1<br>社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる |  | 評点(〇〇)                |
| 評価   | 標準項目   |                       |
| ●あり ○なし  | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる | ○非該当                  |
| ●あり ○なし  | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。                | ○非該当                  |
| サブカテゴリー2(3-2)  |  |                       |
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている                                  |  | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1<br>利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている          |  | 評点(〇〇)                |
| 評価   | 標準項目   |                       |
| ●あり ○なし  | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている                         | ○非該当                  |
| ●あり ○なし  | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある                                  | ○非該当                  |
| 評価項目2<br>虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている                               |  | 評点(〇〇)                |
| 評価   | 標準項目   |                       |
| ●あり ○なし  | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している    | ○非該当                  |
| ●あり ○なし  | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている    | ○非該当                  |

| サブカテゴリ-3(3-3)   |  |                      |
|---|--|----------------------|
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている   |  | サブカテゴリ毎の<br>標準項目実施状況 |
|   |  | 5/5                  |
| <b>評価項目1</b><br>透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>   |  |                      |
| 評価  | 標準項目   |                      |
| ●あり ○なし   | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる              | ○非該当                 |
| ●あり ○なし   | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している                  | ○非該当                 |
| <b>評価項目2</b><br>地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>   |  |                      |
| 評価  | 標準項目   |                      |
| ●あり ○なし   | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている               | ○非該当                 |
| ●あり ○なし   | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | ○非該当                 |
| ●あり ○なし   | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる                   | ○非該当                 |
| カテゴリ-3の講評   |  |                      |
| <b>社会人・法人の職員としての種々の規範について、さまざまな場面で啓発がなされている</b><br>「森友会の職員として」に、社会人及び法人の職員としての種々の服務規律のほか、接遇・身だしなみや整理整頓・環境美化など、法人の保育者に求める基本行動を定めている。入職者にはこれらをもとに初任者教育を行い、園内でも毎月の職員会議等で、経営層が随時関連の啓発を行っている。また各階で年間及び毎月の行動目標を設定し、各階のフロア会議で、コミュニケーション・片付けの徹底・チームとしての連携等、その月の実践を振り返る仕組みを設けるほか、各職員の毎年度の自己評価でも、職位ごとに定める行動規範に関する振り返りがなされている。 |  |                      |
| <b>園・家庭での虐待等の防止と、保護者の多様な意向への適切な対応に努めている</b><br>不適切保育と総称される、子どもの人権や心情を顧みない不適切な関わりの防止について、全職員が法人共通の項目をもとに年4回自身を振り返る仕組みを設けている。また虐待等が懸念される子ども・家庭への支援について、行政機関との連携体制を整えるとともに、法人の「虐待防止マニュアル」等の関連資料を常備している。苦情を含む保護者の個別の意向には、日々の交流・面談のほか、園舎1階の「メッセージボックス」や苦情解決制度など、多様な伝達・申し出の仕組みを設け、内容に応じ傾聴・相談の席を設けるなど、適切な対応に努めている。         |  |                      |
| <b>地域の社会資源として、園の情報や機能を積極的に提供している</b><br>ホームページや法人・園の各種SNS、中野区を通じた情報発信と沿道の掲示板での各種広報、実習生・職場体験生や他区の特別支援学校生の受け入れなど、透明性ある開かれた園運営に努めている。また区の私立保育所園長会や「保育・教育情報交換会」、地域内の保・幼・小の連絡会への参画を通じ、保育・教育施設間の交流・連携に加わっている。地域向けの「なかよし子育て広場」では、各種行事の開放や季節の制作・遊びの体験、身体測定や食事・保健相談など、さまざまな企画で未就園世帯の子育てを支援しており、さらなる拡充も視野に入れている。              |  |                      |

|   |  |                  |           |      |
|---|--|------------------|-----------|------|
| 4   |  |                  | カテゴリ4     |      |
| リスクマネジメント   |  |                  |           |      |
| サブカテゴリ1(4-1)  |  |                  |           |      |
| リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる   |  | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 |           | 5/5  |
| 評価項目1<br>事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる  |  |                  | 評点(〇〇〇〇〇) |      |
| 評価  | 標準項目   |                  |           |      |
| ●あり ○なし   | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている |                  |           | ○非該当 |
| ●あり ○なし   | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている   |                  |           | ○非該当 |
| ●あり ○なし   | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している  |                  |           | ○非該当 |
| ●あり ○なし   | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる                         |                  |           | ○非該当 |
| ●あり ○なし   | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる                                 |                  |           | ○非該当 |
| サブカテゴリ2(4-2)  |  |                  |           |      |
| 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている  |  | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 |           | 4/4  |
| 評価項目1<br>事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている   |  |                  | 評点(〇〇〇〇)  |      |
| 評価  | 標準項目   |                  |           |      |
| ●あり ○なし   | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている                    |                  |           | ○非該当 |
| ●あり ○なし   | 2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している  |                  |           | ○非該当 |
| ●あり ○なし   | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている                                      |                  |           | ○非該当 |
| ●あり ○なし   | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している                  |                  |           | ○非該当 |
| カテゴリ4の講評  |  |                  |           |      |
| <p>災害・不審者をはじめ、種々の緊急事態への対策をさまざまに行っている</p> <p>毎月の防災訓練を、早朝から夕方までの開所中の主な時間帯・状況を設定して行っており、保護者との子どもの引き渡し手順の確認や、消防署の来園指導もなされている。不審者対策訓練も毎年度設け、年度によっては警察署の指導も得ている。また看護師が指導役となり、心肺蘇生・AEDや嘔吐物処理の手順のほか、けいれん・アレルギー事故や園内での行方不明、不審物発見の各ケースを想定し、緊急時の対応訓練を実施している。感染症・災害発生時の各BCP(業務継続計画)も作成しており、内容の更新や、発動を想定した職員への周知が課題と思われる。</p> <p>各種の事故やハード面の老朽化など、多様なリスクへの対策に取り組んでいる</p> <p>子どものケガ等の事故の発生時には、遅滞なく検証して原因や防止対策等を明らかにし、各階または組織全体に周知させるとともに、重要な事象はフロア会議や職員会議でより詳細な考察を行っている。また種々の事故リスクを内容するいわゆるヒヤリハットは、会議での報告や各階の連絡用ノートによって組織内で共有することとなっている。開園から一定年月が経過し、園舎・設備の老朽化対策も課題となっており、法人による点検や日常的な園内での安全点検と、必要な修繕等を行い、少子化に伴う経営環境の変化もリスクと位置づけ、対策の検討を続けている。</p> <p>各種情報の利活用と適切な取り扱いの徹底について、必要な環境と仕組みを整えている</p> <p>法人内のクラウド上での情報共有など、情報の利活用の推進を図るとともに、各種情報及び媒体・端末等の取り扱いについて、法人の「個人情報管理マニュアル」と関連規程や就業規則に、各種の遵守・禁止事項を定めている。職員には入職者の啓発と誓約書提出、実習生等には受け入れ時の守秘義務厳守の確認により、それらの徹底を促すほか、重要書類の施錠管理や端末・ソフトウェア類の各種セキュリティ設定など、環境面でも情報漏洩防止に配慮している。保護者には入園時に、肖像を含む各種情報の利用目的などに関する説明と同意確認を行っている。</p> |  |                  |           |      |

| 5 カテゴリー5                                  |  |                   |
|---|--|-------------------|
| サブカテゴリー1(5-1)                             |  |                   |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる |  | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 |
|   |  | 12/12             |
| 評価項目1<br>事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている     |  |                   |
| 評点(〇〇)                                    |  |                   |
| 評価  | 標準項目   |                   |
| ●あり ○なし                                   | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している                                    | ○非該当              |
| ●あり ○なし                                   | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる           | ○非該当              |
| 評価項目2<br>事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している      |  |                   |
| 評点(〇〇)                                    |  |                   |
| 評価  | 標準項目   |                   |
| ●あり ○なし                                   | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている         | ○非該当              |
| ●あり ○なし                                   | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している    | ○非該当              |
| 評価項目3<br>事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる     |  |                   |
| 評点(〇〇〇〇)                                  |  |                   |
| 評価  | 標準項目   |                   |
| ●あり ○なし                                   | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している                             | ○非該当              |
| ●あり ○なし                                   | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している                      | ○非該当              |
| ●あり ○なし                                   | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している                       | ○非該当              |
| ●あり ○なし                                   | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている            | ○非該当              |
| 評価項目4<br>職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる         |  |                   |
| 評点(〇〇〇〇)                                  |  |                   |
| 評価  | 標準項目   |                   |
| ●あり ○なし                                   | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている              | ○非該当              |
| ●あり ○なし                                   | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | ○非該当              |
| ●あり ○なし                                   | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる                                | ○非該当              |
| ●あり ○なし                                   | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている                                 | ○非該当              |

| サブカテゴリ-2(5-2)  |  |                           |
|--|--|---------------------------|
| 組織力の向上に取り組んでいる   | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況   | 3/3                       |
| 評価項目1<br>組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる  |  | 評点(〇〇〇)                   |
| 評価   | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している                      | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる                     | <input type="radio"/> 非該当 |
| カテゴリ-5の講評  |  |                           |
| <p>法人全体で人材確保に努め、園内の配置はチーム保育をより充実させる視点で行っている</p> <p>職員の採用は系列全園について、法人の担当委員会と各園が協力して行っている。法人サイトを含む各種媒体や養成校・関連業者、在職者の紹介などの多様な方法による募集と、所定の選考過程を経て、法人の人材像に合う職員の確保を図り、異動や配置等の人事は、各園の体制と各職員の希望・キャリア形成等を勘案して決定している。各階の配置はチームとしての最善の保育提供の視点で、適性・経験等のバランス等を考慮して決定するとともに、組織全体で各階の保育や子どもの状況を把握できるよう、フロア間で毎日1~2名を入れ替えて保育を行っている。</p> <p>職員の能力・意欲向上の仕組みと、法人共通のキャリアパスモデルが整備されている</p> <p>一般層と園長・副園長の各階層で、自己評価と年度の振り返りをもとに、次年度の目標と研修の受講予定を定める、法人共通の人材育成の仕組みが運用されるほか、同一の項目による上司評価を人事などの参考とし、各人の処遇と意欲の向上につなげている。また「職員のキャリアプランについて」等に、入職以降のキャリア形成や必要な職責・研鑽等のモデル・指標が示されるほか、今年度法人共通の「保育人材 キャリアパスモデル」が定められており、今後これを前述の個別の目標設定や、各職員への指導・助言等に活かしてゆくことが期待される。</p> <p>実務的な学びや職員同士の対話の場を多様に設け、労働環境面の各種整備にも努めている</p> <p>上記の各人の評価や目標は、園長が面談で共有し、必要な支援や助言を行うほか、新人には先輩職員がOJT等を行う「バディ」制度や、各種の基本業務をスタンプラリー形式で習得する仕組みも設けている。毎月の全体・各フロアの会議では、保育や安全・保健、子どもなどに関する話し合いと学びが随時持たれるほか、「誉める保育」に関する系列及び提携法人の園との往還型の研修や、階層別・法人全体の各研修、専門家のオペレッタ指導など、法人内に多様な研修が整備されている。各種労務管理やストレスチェックなど、労働環境の各種整備もなされている。</p> |  |                           |

|  |  |
|--|--|
| カテゴリー7   |  |
| 7 事業所の重要課題に対する組織的な活動   |  |
| サブカテゴリー1(7-1)  |  |
| 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている  |  |
| <p>評価項目1</p> <p>事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>   |  |
| <p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>年度の事業計画は法人統一の書式が定められており、「運営方針」「園運営組織」「保育内容の充実・質の向上」「教育研修(人材育成)」「保護者支援」「食事」「安全」「保健衛生」「施設整備」などの各分野と、「その他事業(園固有の課題、委員会活動に係るものなど)」について、年間の「重点事業」を定め、取り組むこととなっている。</p> <p>当園では昨年度、それまでの認可保育所から認定こども園に移行しており、「園児獲得」を当園固有の課題の一つに挙げ、少子化が進む地域の現状を踏まえ、地域ニーズの把握と、法人の独自性豊かな保育の発信に取り組むこととした。</p> <p>具体的な取組として、「なかよし子育て広場」と題し、食事・保健相談や身体測定のほか、季節の制作・遊びなどの保育体験や、夏祭りをはじめとする行事の開放など、さまざまな内容の地域向けイベントを毎月2回実施し、地域の保育所等を利用していない子ども・保護者が、園の保育や環境に触れたり、家庭同士で交流する場を提供した。</p> |  |
| 目標の設定と取り組み   | <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った<br><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった<br><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった                     |
| 取り組みの検証  | <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った<br><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)<br><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である |
| 検証結果の反映  | <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた<br><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない<br><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である                     |
| <p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>取組は年間を通じて行い、開始後数か月は来園が得られなかったが、沿道の掲示板をはじめ、広報活動に注力し、徐々に利用者も増加した。上記の認定こども園への移行により、区のホームページをはじめとする公的な情報提供のプラットフォームも変わったことから、認定こども園としての当園への認知が得られていなかったことも推察され、情報の発信の必要性が認識されている。</p> <p>これを踏まえ、今年度は園公式のSNSの開設など、広報の拡充を図るとともに、一連の子育てひろば事業を継続し、昨年度同様に多様な内容で地域の子育て家庭に園を開放している。子育て広場事業については、園庭開放の開始をはじめ、支援の充実も視野に入れており、地域の子育て家庭が園を訪れる機会を増やしていきたいと考えている。また今後も進むであろう少子高齢化を念頭に、子どもやその保護者だけでなく、さまざまな世代の人々が地域から集う、コミュニティの核としての機能を果たすことを、長期的な展望として描いている。</p>         |  |

## 評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

## 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度の事業計画では、「職場環境の維持と、優秀な人材の育成」も、当園固有の課題として重点事業の一つに定めた。転居や健康上の理由など、やむを得ない事情による職員の離職が続いたことから、事業計画には保育補助職員や学生アルバイト等の積極的な採用により、常勤職員の負担の軽減を図るとともに、職員にはそれぞれに即したキャリアパスの提案と目標設定を行い、目標への取組やチームとしての連携・協力を通じ、仕事への意欲や職場への帰属意識を高めることなどを、取組として挙げた。  
また上記の現場の負担権限のための方策として、実施可能な合理化・省力化を進めるため、現場の業務の洗い出しと検討にも取り組んでいる。

## 目標の設定と取組

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

## 取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

## 検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

## 評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

業務の合理化・省力化の一例として、各期間の保育計画については、保育所保育指針では長期・短期の各計画を定めることとされていることを踏まえ、それまでの年・月・週の3種類を、年・週の2種類に改め、作成に充てる時間・労力を軽減するとともに、生じたゆとりを保育提供や保育者間の話し合いに充てるなど、保育の充実に活かした。  
また健診等を委嘱する園医から、来園と健診実施の予定を急に変更されることがたびたび発生し、それに伴う当日のタイムスケジュールの保護者への連絡など、現場に負担が生じていた。これを踏まえ、翌年度から園医を変更することを念頭に候補者を探し、確保している。  
その他、各保育室や事務室・スタッフルームその他の職員の共用スペースについて、美観の維持の観点とともに、必要なものをすぐに手に取り、使用できる環境を整えることも課題として、不用品の処分を含む整理整頓を図り、業務の効率化にもつなげている。  
今年度の事業計画でも、昨年度の上記の重点事業を継承し、引き続き取組を行っている。

## II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

| No.   | 共通評価項目    |   |
|---|-----------|---|
| サブカテゴリー1  |           |   |
| 1   | サービス情報の提供 | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4                         |
| 評価項目1<br>利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>  |           |   |
|   | 評価        | 標準項目  |
|   | ●あり ○なし   | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している              |
|   | ○非該当      |   |
|   | ●あり ○なし   | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている  |
|   | ○非該当      |   |
|   | ●あり ○なし   | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している                    |
|   | ○非該当      |   |
|   | ●あり ○なし   | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している |
|   | ○非該当      |   |
| サブカテゴリー1の講評   |           |   |
| <p>園や行政のホームページなどに、園の各種情報や特徴が掲載されている</p> <p>園のホームページでは、所在地・連絡先・定員・保育時間といった基本情報をはじめ、0～1歳児・2歳以上児それぞれの1日の流れ、年間行事、保育の特徴を掲載している。また避難場所や決算書類、自己評価など運営に関する資料を公開し、法人が大切にしている散歩の考え方や実践をまとめた絵本『あのね、さんぽにいったらね』も閲覧できるようにしている。また区のホームページにも、入園申し込み方法や年齢別の利用区分と定員、園のサイトへのリンクが掲載されるほか、法人によるSNS運用もなされており、今後は園でも順次発信を進める予定としている。</p> <p>利用希望者の見学を受け入れて、園の保育の特色や環境構成の工夫などを説明している</p> <p>利用希望者を対象とした見学を受け入れている。見学は電話で受け付け、都合を合わせたくうえで随時実施している。見学当日は、園の特徴やQ&amp;Aなどを掲載したパンフレットを配付したのち、保育の理念等の概要を説明し、子どもたちの活動の様子についてはスライド資料を作成し、用いている。10時30分から1時間程度、基本的に園長が対応し、法人の理念や「誉める」営み、主体性の尊重、異年齢を軸とした保育の考え方を伝えている。食事場面における喫食の工夫や子どもが遊びや活動を自ら選べる環境構成についても説明し、質疑応答も適宜行っている。</p> <p>園見学やパンフレット、子育て広場を通じて園の専門性と雰囲気伝えていく</p> <p>見学等で来園する入園希望者には、園や法人作成のパンフレット、保育の考え方を記載した「保育コンセプトブック」を配付している。また地域子育て支援事業「なかよし子育て広場」として、保育士・栄養士・看護師による相談・身体測定・制作などの内容で、月に2回のペースで取り組んでおり、地域の家庭が来園して園の専門性や環境・雰囲気に触れ、特色の一端を知ってもらえるきっかけとなっている。同広場の広報媒体として、定期的に開催案内を作成し、近隣の医院や歯科医院、行政機関の受付に設置したり、市中の掲示板に公開したりしている。</p> |           |   |

| サブカテゴリ-2  |   |                                 |
|---|---|---------------------------------|
| 2   | サービスの開始・終了時の対応                                      | サブカテゴリ毎の<br>標準項目実施状況 <b>6/6</b> |
| <b>評価項目1</b><br>サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>  |   |                                 |
| 評価  | 標準項目  |                                 |
| ●あり ○なし   | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している        | ○非該当                            |
| ●あり ○なし   | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている                      | ○非該当                            |
| ●あり ○なし   | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している                 | ○非該当                            |
| <b>評価項目2</b><br>サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>   |   |                                 |
| 評価  | 標準項目  |                                 |
| ●あり ○なし   | 1. サービス開始時に、子どもの指導・援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○非該当                            |
| ●あり ○なし   | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している              | ○非該当                            |
| ●あり ○なし   | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている    | ○非該当                            |
| サブカテゴリ-2の講評   |   |                                 |
| <p><b>入園説明会を実施し、重要事項や園の決まりを説明し、同意を確認している</b></p> <p>4月入園が内定している家庭を対象に、年度末に入園説明会を実施している。重要事項説明書と「入園のしおり」を用いて、園の決まりや保育において大切にしていることを、園長と主任保育士が説明しており、保健衛生や健康管理については、看護師が説明している。またその後に行う個別の面談においても、保護者に不明点の有無を尋ね、丁寧な説明を心がけている。説明後には、入園までに重要事項や個人情報への同意を書面にて確認している。また年度中途の入園の場合には、個別の面談で重要事項説明書や入園のしおりの内容を説明している。</p> <p><b>保育開始に必要な情報を、面談と書類から把握している</b></p> <p>保育開始に必要な情報を、面談と書類から把握している。面談は保育士が担当し、子どもの成長・発達や生活リズム、各家庭の就労状況等の情報を、保護者が記入した「個人調査表」「新入園児食事状況確認書」「お子様のアレルギーについて」等の各種書類の内容を確かめながら聴き取り、記録に残している。また保健面に関する情報は看護師が把握し、離乳食がある場合には、各期の食事の特徴や留意事項を記入した資料を使用して説明している。得られた情報については、会議や情報共有用のノート、職員間の口頭伝達により、組織内で共有している。</p> <p><b>利用開始時の不安と負担の軽減や、利用終了後の関係継続にも取り組んでいる</b></p> <p>利用開始直後の環境の急激な変化の中で、子どもの不安や負担をできる限り和らげられるよう、保育時間を徐々に伸ばしながら、体験を増やしてゆく「慣らし保育」を実施している。期間は1週間から1か月程度とし、面談時に保護者の復職時期に応じた3つのパターンを提示して、おおよその目安を立てて進め、子どもの様子等を踏まえて柔軟に対応している。また子どもの泣きが強く、水分補給が難しい場合などには、早めの連絡をすることがある旨を、あらかじめ保護者に伝えている。利用終了後も継続して関わられるよう、再訪や行事への誘いかけを行っている。</p> |   |                                 |

| サブカテゴリ-3   |   |                            |
|--|---|----------------------------|
| 3  | 個別状況の記録と計画策定  | サブカテゴリ毎の<br>標準項目実施状況 13/13 |
| <b>評価項目1</b><br>定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している |   | 評点(〇〇〇)                    |
| <b>評価</b>  | <b>標準項目</b>   |                            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している                                      | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している   | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている  | <input type="radio"/> 非該当  |
| <b>評価項目2</b><br>全体的な計画(教育課程を含む)や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している                         |   | 評点(〇〇〇〇〇)                  |
| <b>評価</b>  | <b>標準項目</b>   |                            |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 1. 指導計画は、全体的な計画(教育課程を含む)を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、指導の過程を踏まえて作成、見直しをしている                           | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている                     | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している  | <input type="radio"/> 非該当  |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし                   | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている  | <input type="radio"/> 非該当  |

|   |  |                           |
|---|--|---------------------------|
| <b>評価項目3</b><br>子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している  |  | <b>評点(〇〇)</b>             |
| <b>評価</b>   | <b>標準項目</b>  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある                              | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 指導計画に沿った具体的な指導・援助内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <b>評価項目4</b><br>子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している   |  | <b>評点(〇〇〇)</b>            |
| <b>評価</b>   | <b>標準項目</b>  |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、指導・援助を担当する職員すべてが共有し、活用している                 | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている            | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし  | 3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、指導事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている               | <input type="radio"/> 非該当 |
| <b>サブカテゴリ-3の講評</b>  |  |                           |
| <b>子どもや家庭の状況を継続的に把握するための記録体制を整えている</b><br>上記の「個人調査票」その他の、子どもや家庭の各種情報が記載される帳票類は、内容ごとに整理・保管し、子どもの育ちと家庭状況を継続的に把握している。緊急連絡先については変更時に随時確認を行うとともに、年1回の見直しを通して、家庭状況の変化を踏まえた把握に努めている。児童票は年間を通じて同一担当が記入する体制とし、日々の積み重ねを踏まえながら、一人ひとりの成長をとらえた評価や総合所見を記録している。各種情報は、面談や日常のやり取りを通して家庭と内容を確かめ合い、子ども理解を深める基盤として活用している。           |  |                           |
| <b>職員間での情報共有の仕組みを整え、一人ひとりの子ども理解を深めている</b><br>日々の関わりの中で気づいた子どもの姿や発達上の課題、保護者のニーズについては、フロア会議や各種ノート・会議録を通じて職員間で共有している。フロア会議・リーダー会議・職員会議では、それぞれの場で必要な視点から話し合いを行い、個々の気づきを園全体の共通理解へとつなげている。またフロア間で保育者が毎日1～2名交代することで、異なる環境や集団の中で子どもの姿をとらえる機会を確保するなど、情報や判断が特定の職員に偏ることなく、職員同士が考えを持ち寄りながら、チームとして子どもへの関わりを検討できる体制を整えている。    |  |                           |
| <b>子どもの姿をもとに、記録・計画とそれらの共有を通して、保育の充実に取り組んでいる</b><br>全体的な計画を基盤に、年・週の各期間の指導計画を作成し、子どもの姿や集団の状況に応じて、ねらいや配慮事項を整理している。また2歳児までは個別の指導計画を作成し、一人ひとりの発達や生活リズムに配慮した関わりに取り組んでいる。計画は振り返りを通して見直し、養護と教育の両面から子どもの実態に即した保育となるように心がけている。保育日誌には週及び当日のねらいを位置づけ、チームとして保育を振り返る仕組みとするなど、子どもの経過や職員の視点を踏まえた計画・振り返りのもとで、継続した支援を行う仕組みを設けている。 |  |                           |

| サブカテゴリー5  |  |                   |     |
|---|--|-------------------|-----|
| 5   | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重                                   | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 5/5 |
| 評価項目1<br>子どものプライバシー保護を徹底している  |  | 評点(〇〇)            |     |
| 評価  | 標準項目   |                   |     |
| ●あり ○なし   | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当              |     |
| ●あり ○なし   | 2. 子どもの羞恥心に配慮した指導・援助を行っている                           | ○非該当              |     |
| 評価項目2<br>サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している  |  | 評点(〇〇〇)           |     |
| 評価  | 標準項目   |                   |     |
| ●あり ○なし   | 1. 日常の教育・保育の中で子ども一人ひとりを尊重している                        | ○非該当              |     |
| ●あり ○なし   | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した指導・援助を行っている                  | ○非該当              |     |
| ●あり ○なし   | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている        | ○非該当              |     |
| サブカテゴリー5の講評   |  |                   |     |
| <p><b>子どものプライバシーや羞恥心に配慮した関わりに努めている</b></p> <p>保護者には入園時に、個人情報の利用に関する意思確認を行い、外部との授受についてはそのつど同意を得ることとしている。日常の保育においては、着替えや排せつの場面で子どもの様子や気持ちに配慮し、必要以上に視線が向かないよう、環境や声かけを工夫するほか、一人ずつ着替えを行う・全裸にならない手順を知らせるなど、発達段階に応じた丁寧な対応に努めている。また、ジェンダーに配慮し、着替えの場所について本人の意向を確認するとともに、就学先とも情報共有を図るなど、継続した支援につなげる仕組みを設けている。</p> <p><b>保育理念に基づき、子ども一人ひとりを尊重した保育実践に取り組んでいる</b></p> <p>保育理念を「すべての子どもの最善の利益のために」として、子どもの自主的・自発的に育つ姿を伸ばす保育に取り組むことを謳っている。好きな場所で好きな遊びを選択できるように環境を整え、個々の生活リズムに合わせた食事や睡眠への対応などに取り組んでいる。また入園前後の各家庭との情報交換により、子どもに関する情報のほか、保護者や家庭の状況と生活習慣等を把握し、食物アレルギー除去食や咀嚼・嚥下・食材の体験に基づく離乳食の提供、保健や発達面の特性への配慮など、個別の事情への対応を行っている。</p> <p><b>虐待等の早期発見と防止に向け、組織内の情報共有の仕組みや手引書を整備している</b></p> <p>虐待の定義や発見するためのポイント、通報の義務や流れなどをまとめられる、法人の「虐待防止マニュアル」を常備するほか、保育者の虐待の防止に向けた取組として、年間4回、子どもへの接し方などを振り返るアンケートを実施している。家庭内での育児不安や虐待の早期発見に向け、視診時には子どもの表情や身体の状態、子どもと保護者の関わりの様子を確認し、いつもと異なる状況が見られる場合はすぐに報告することとし、連絡帳に気になる記述がある場合にも、保育者が個別に判断するのではなく、園全体で対応することを職員間で確認している。</p> |  |                   |     |

| サブカテゴリ-6   |   | サブカテゴリ毎の<br>標準項目実施状況      | 5/5 |
|--|---|---------------------------|-----|
| 6 事業所業務の標準化  |   |                           |     |
| 評価項目1<br>手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている   |   | 評点(〇〇〇)                   |     |
| 評価   | 標準項目  |                           |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている           | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている              | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している                    | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| 評価項目2<br>サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている  |   | 評点(〇〇)                    |     |
| 評価   | 標準項目  |                           |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている                       | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | <input type="radio"/> 非該当 |     |
| サブカテゴリ-6の講評  |   |                           |     |
| <p>業務全般の基本を明示する、各種のマニュアル・手引書を整備し、運用している</p> <p>系列園共通のマニュアルには、職員の心得、保育及び園外保育、虐待防止・感染症対策・アレルギー対応・個人情報管理・不審者対応など、業務全般にわたる守るべき事項や留意点、具体的な手順を掲載している。マニュアル集は事務室内に常置し、職員が必要な時にすぐ参照できる状態とするほか、冒頭ページには改正箇所を明示し、内容の更新点を把握しやすくしている。また「入園のしおり」には園の決まりを整理して記載し、園内の業務内容や職員間の決めごとをまとめた「なかよしの森こども園のルールブック」も、手引きとして活用している。</p> <p>各種業務の標準的な手順等が定着するよう、研修と振り返りを重ねている</p> <p>新人職員が園の基本業務を段階的に理解できるよう、「スタンプラリー」と呼ぶ取組を行っている。入園のしおりの内容、当番勤務、設備機器の操作方法、緊急時の対応、保育計画の作成、嘔吐処理などについて、主任・副主任・看護師が資料を用いて指導し、指導後に担当者が押印し、伝え漏れや理解不足を防いでいる。また嘔吐処理やSIDS、熱性けいれんへの対応訓練、毎月の避難訓練に加え、消防署職員を招いた総合訓練も実施している。職員会議では、定められた手順に沿った実践となっているかを振り返り、手引書を用いて確認を行っている。</p> <p>手引書類の更新や園の保育・安全対策等の改善、保護者の意向の把握と活用に努めている</p> <p>法人共通の手引書類は、行政の要綱・通知等の改正や事故報道、系列園内の事例などをもとに法人が改正し、変更内容が園に周知されている。また入園のしおりや重要事項説明書等は園内で毎年度見直し、必要に応じて修正し、保育実践や行事の振り返り、保育環境の定期的な適切性の点検も行われている。ヒヤリハットや事故の事例から再発防止策を検討したり、毎月の避難訓練の振り返りから課題を抽出したりするなど、安全面の対策の確認と改善のほか、行事後をはじめとするさまざまな機会でのアンケート等、保護者の意向の把握と活用にも取り組んでいる。</p> |   |                           |     |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

|   |  | サブカテゴリー4          |         |
|---|--|-------------------|---------|
| サービスの実施項目   |  | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 | 36 / 36 |
| 1   | 評価項目1<br>子ども一人ひとりの発達の状態に応じた指導・援助を行っている                                   | 評点(〇〇〇〇〇〇)        |         |
| 評価  | 標準項目   |                   |         |
| ●あり ○なし   | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで指導・援助している                       | ○非該当              |         |
| ●あり ○なし   | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している                   | ○非該当              |         |
| ●あり ○なし   | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している                          | ○非該当              |         |
| ●あり ○なし   | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の教育・保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう指導・援助している | ○非該当              |         |
| ●あり ○なし   | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている                 | ○非該当              |         |
| ●あり ○なし   | 6. 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、指導・援助している                                  | ○非該当              |         |
| 評価項目1の講評  |  |                   |         |
| <p>子どもの全体像をとらえ、発達や生活の流れに応じた保育に取り組んでいる</p> <p>日々の保育の中で子ども一人ひとりの姿や集団としての様子をとりえ、職員間で情報を共有しながら全体像の把握に努めている。1歳児から2歳児への移行にあたっては、生活の流れや集団の安定状況を踏まえ、休息の時間帯から段階的に移行を進めるなど、子どもの姿をもとに、育ちに応じた生活や遊びの支援と関わりに努めている。子ども同士の関わりについても、年齢や発達段階、関係性を見極めながら見守りや仲介を心がけ、子ども自身が気持ちを調整していく過程を大切にしながら、子どもの生活と経験が無理なく広がるよう援助している。</p> <p>子どもの成長や姿の変化を踏まえ、環境構成や教具を工夫している</p> <p>家具配置やコーナー、教具については、子どもの成長や日々の姿の変化を踏まえ、定期的に見直しや入れ替えに取り組んでいる。乳児は、歩行が増えてきた時期や在籍人数に応じてスペースの広さを調整し、低月齢児が安心して過ごせるよう、仕切りを設けつつも、緩やかな環境構成としている。教具は発達段階や遊びの様子を見ながら選定し、棚に写真を貼るなど、子どもが自分で片づけやすい工夫に努めている。また、作品を飾るスペースや制作途中のものを大切に扱う環境づくりを通して、子どもの意欲や表現が日常の中で育まれるよう配慮している。</p> <p>個々の特性や多様な背景を尊重し、関係性の育ちを支える保育に努めている</p> <p>異年齢保育を通して、年下の子どもへの関心や思いやりの気持ちが育まれており、子ども同士の関係性の広がりが見られる。保育者は取り組む過程を認める言葉かけや関わりを意識し、音に敏感な子どもへの配慮など、一人ひとりの感じ方にも目を向けている。また外国籍の子どもも在籍する中で、国旗や文化に触れる機会を設けるなど、背景への理解を大切にしたり関わりを行っている。個別の配慮が必要な子どもについては、会議等で共通理解を図り、専門家からの助言も踏まえながら保育を進めるなど、集団の中で安心して過ごせる関係づくりを意識している。</p> |  |                   |         |

| 2 評価項目2  |  | 標準項目 | 評価   |
|--|--|------|------|
| 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した教育・保育を行っている  |  |      |      |
| ●あり ○なし  | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している                        |      | ○非該当 |
| ●あり ○なし  | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう指導・援助している |      | ○非該当 |
| ●あり ○なし  | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している                    |      | ○非該当 |
| ●あり ○なし  | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている                  |      | ○非該当 |
| 評価項目2の講評   |  |      |      |
| <p>登降園時を含め、子どもの健康状態や生活状況を丁寧に把握している</p> <p>登園時には、前日の体調状況を保護者から確認するとともに、挨拶の中で顔色や様子を視診し、怪我の有無なども含めて把握している。乳児については登園時に検温を行い、年齢に応じた呼吸や状態の確認も行っている。着替えの際にも体調や皮膚の状態を確認し、保護者からの伝達事項は「受入れ引き渡し表」に記録して職員間で共有している。降園時には、その日の活動内容や子どもの様子を口頭とアプリで伝えるとともに、掲示板を活用して活動の様子を知らせる工夫を行うなど、登降園を通して子どもの健康や生活の変化を継続的にとらえる体制を整えている。</p> <p>生活や午睡の様子を継続的に記録し、年齢や体調に応じた配慮につなげている</p> <p>食事の摂取状況や排せつの様子については、各種記録用紙を用いて日々把握しており、子どもの体調や生活リズムに応じた配慮に活かしている。家庭での睡眠時間についても把握し、午睡は年齢や家庭の意向、子どもの様子を踏まえて柔軟に対応している。5歳児については就学を見ずえ、午睡を行わず、別室で落ち着いて過ごせるようにしており、3・4歳児も状況に応じて保護者と確認しながら対応している。午睡時には、年齢に応じた呼吸・状態の確認を行うとともに、子どもの様子が把握しやすい環境を整え、安心して休息が取れるよう配慮している。</p> <p>発達に応じた身の回りの援助と、保護者との連携を大切にしている</p> <p>身支度や着替え、帰り支度等は、子どもの発達段階に応じた距離感で見守りや援助に努めている。幼児については、子ども自身が取り組もうとする気持ちを大切に、必要に応じて支える関わりを心がけている。2歳児については、一人ひとりの発達に合わせて着替えの手順を知らせるなど、無理のない支援を行うとともに、園庭に出る際のコートかけには写真を用いるなど、子どもが自分で行動しやすい環境も整えている。また、日々のやり取りや連絡帳を通して家庭の思いや状況を受けとめ、家庭と共通理解を図りながら支援につなげている。</p> |  |      |      |

| 3 評価項目3<br>日常の教育・保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している  |   | 評点(〇〇〇〇〇〇) |
|---|---|------------|
| 評価  | 標準項目  |            |
| ●あり ○なし   | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている   | ○非該当       |
| ●あり ○なし   | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう指導・援助している  | ○非該当       |
| ●あり ○なし   | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | ○非該当       |
| ●あり ○なし   | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている  | ○非該当       |
| ●あり ○なし   | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている                                 | ○非該当       |
| ●あり ○なし   | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している                        | ○非該当       |
| 評価項目3の講評  |   |            |
| <p>子どもの興味や関心をもとに、主体的に遊び込める環境づくりに取り組んでいる</p> <p>子どもの興味や関心をもとに遊びや活動を展開する中で、0・1歳児と2歳児から5歳児までの年齢差を踏まえた、教具や素材の選定に取り組んでいる。発達段階や経験に違いがあるため、同じ教具であっても関わり方や楽しみ方に幅が生まれるよう工夫し、それぞれの子どもが自分なりに関われる環境を整えている。また、保育者が用意した活動に一律に取り組むのではなく、子ども自身が遊びや場所を選ぶことを大切にしており、園庭・屋上・テラスなど多様な場を遊びの広がりに活かし、子どもの発信をきっかけに遊びを深める姿が日常的に見られている。</p> <p>表現活動や言葉への配慮を通して、一人ひとりの思いや表現を大切にしている</p> <p>表現・制作・英語活動など、年齢やクラスに応じた多様な活動を行っており、保育者や専任講師による関わりを通して、子ども一人ひとりの表現を大切にしている。朝の会では、絵本の読み聞かせや手遊び・ペープサート(紙人形劇)などを採り入れ、言葉や表現に親しむ機会を設けている。活動に消極的な姿が見える子どもに対しても、様子に合わせた関わりを心がけている。保育者はわかりやすい言葉で声をかけるとともに、子どもの言葉や表情、身振り手振りを受けとめながら応答的に関わり、安心して思いを表現できる雰囲気づくりに配慮している。</p> <p>自然や生活、集団の中での体験を通して、学びや関わりを深めている</p> <p>花や野菜、米の栽培、虫や蚕の飼育など、身近な自然や生活と結びついた体験を日常的に採り入れている。子どもたちは、図鑑を用いて調べ、実際に触れ、世話をする経験の中で、興味や関心を広げている。また、泥団子作り・水遊び・感触遊びなど、素材や環境を活かした遊びを楽しみながら、試したり工夫したりし、遊びを深め、興味を広げている。簡単なルール遊びやごっこ遊びでは、友達と思いを伝え合い遊びを発展する姿が見られており、生活や遊びの中で相手の気持ちに気づき、自分の思いを調整する経験を重ねている。</p> |   |            |

| 4 評価項目4<br>日常の教育・保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している  |   | 評点(〇〇) |
|--|---|--------|
| 評価   | 標準項目  |        |
| ●あり ○なし  | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ○非該当   |
| ●あり ○なし  | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している       | ○非該当   |
| 評価項目4の講評   |   |        |
| <p><b>日常の遊びや子どもの興味を活かし、行事内容を工夫している</b></p> <p>行事は、日頃の遊びや活動の中で育んできた経験を活かす機会として計画している。「もりフェス(運動会)」では、猛獣狩りやサーキットなど普段から親しんでいる遊びを競技内容に採り入れている。オペレッタ会においても、表現の進め方を固定せず、子どもたちが友達と相談して表現の仕方を考える過程を大切にしている。当日を迎える中で、人前に立つことへの緊張や不安を感じながらも、自分なりの表現に取り組む姿や、友達の表現を受けとめ応援する姿など、行事を通して子ども同士の関わりが持たれ、自己表出への自信にもつながっている。</p> <p><b>年齢や発達段階に応じて、多様な行事や体験の機会を設けている</b></p> <p>親子で遊ぼう会では、乳児は園庭や室内など過ごす場所を選びながら親子で参加し、幼児は日頃の園での生活や遊びの様子を保護者に伝え、また保護者同士の親睦の場にもなっている。鯉のぼり会・七夕・新年お祝い会などでは、由来や文化に触れる機会を設け、季節を感じ取り、行事に親しんでいる。また、遠足や防災に関する体験としての起震車体験などを通して、年齢に応じた経験を重ね、日常の生活や安全への意識につながるよう工夫している。食育と関連した行事も年齢ごとに行い、体験を通して生活への関心が広がるよう配慮している。</p> <p><b>行事への関わり方の多様性を大切にし、一人ひとりの気持ちに配慮している</b></p> <p>行事への関わり方については、すべての子どもに同じ参加の仕方を求めるのではなく、一人ひとりの気持ちや状況に応じた関わり方を大切にしている。集団での活動に不安を感じる子どもに対しては、見学や距離を保った関わりなど、その子なりの参加の仕方を受けとめている。また、関心を持って関わろうとする姿を丁寧に認めることで、無理なく次の行動につながるよう配慮している。人前での発表に不安を感じる子どもへの配慮として、オペレッタ会の際に日常の様子を写真や動画で紹介するなど、参加の仕方を広げる工夫についても検討している。</p> |   |        |

| 5 評価項目5<br>在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている  |  | 評点(〇〇〇) |
|---|--|---------|
| 評価  | 標準項目   |         |
| ●あり ○なし   | 1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている                   | ○非該当    |
| ●あり ○なし   | 2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている              | ○非該当    |
| ●あり ○なし   | 3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | ○非該当    |
| 評価項目5の講評  |  |         |
| <p>体調や気分の変化にも目を向けながら、無理のない過ごし方ができるよう関わっている</p> <p>子どもの様子や生活リズムを踏まえながら、落ち着いた流れの中で1日を過ごせるよう配慮している。朝の会ではその日の活動内容を伝え、子どもが見通しを持って遊びに向かえるようにしており、体調や様子に応じて外遊びを控えるなど、無理のない生活を援助している。また0歳児については、午前寝や夕寝が安全に行える環境を整え、年齢や個々のリズムに応じた過ごし方ができるよう工夫している。在園時間が長くなる子どもには、水分補給などにも配慮しながら、夕方の時間帯には状況に応じて園庭で身体を動かして過ごすこともできるようにしている。</p> <p>長時間保育や延長保育において、落ち着いて生活できる環境と関わりを大切にしている</p> <p>延長保育では、人数に応じて別室へ移動し、落ち着いた環境の中で安心して過ごせるようにしている。マットを用いたくつろげるスペースを設け、絵本や手先を使った教具など、静かに楽しめる遊びを用意しているほか、常設していない教具を採り入れ、特別感を抱いている。部屋の仕切りを活用し、遊びや過ごし方を分けることで、それぞれの子どもが落ち着いて過ごせるよう配慮している。補食や夕食の時間には保育者が同席し、会話を楽しみながら食事ができるよう援助しており、延長に係る伝達は引き渡しファイルとともに、口頭でも職員間で伝えられている。</p> |  |         |

| 6 評価項目6<br>子どもが食事を楽しめるよう配慮している  |   | 評点(〇〇〇〇〇) |
|---|---|-----------|
| 評価  | 標準項目  |           |
| ●あり ○なし   | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している         | ○非該当      |
| ●あり ○なし   | 2. 園で提供する食事は、メニューや味付けなどに工夫を凝らしている             | ○非該当      |
| ●あり ○なし   | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している      | ○非該当      |
| ●あり ○なし   | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○非該当      |
| ●あり ○なし   | 5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている  | ○非該当      |
| 評価項目6の講評  |   |           |
| <p>子どもの生活リズムや気持ちを大切に、主体的に食事に向かえる仕組みを設けている</p> <p>一人ひとりの生活リズムや空腹感に合わせて、全員が一斉に食事を始めるのではなく、食べたい気持ちが整った子どもから着席して食事に向かえる仕組みを設けている。配膳にあたっては「お名前呼び」を行い、落ち着いた雰囲気の中で食事を始めるよう配慮している。食べる量についても、子ども自身の思いを尊重したうえで、子どもと保育者で相談して決めており、無理なく食事を進める環境を整えている。また、好きなテーブルを選び、仲間と一緒に食事を楽しめるよう環境を整えるなど、食事の時間が心地よく感じるものとなるよう工夫している。</p> <p>離乳食や食に関する個別の状況に応じ、家庭と情報を共有しながら対応している</p> <p>離乳食は、子ども一人ひとりの発達段階や食事の進み具合に応じて個別に提供している。食材表をもとに進めており、初めての食材については家庭で試したうえで提供する流れを整えている。離乳の段階や食材の形状、量などについては、写真や文字を用いて保護者に丁寧に伝えるようにし、家庭と情報を共有しながら進めている。提供にあたっては保育者が子どもの様子に応じた関わりを行い、子どもが無理のない形で喫食できるよう援助している。アレルギーへの対応でも個別のテーブルを設けるなど、安全面に配慮した提供の仕組みづくりに努めている。</p> <p>献立や食育の取組を通して、食への関心や広がりにつなげている</p> <p>日々の食事では、都道府県にちなんだメニューや行事食を採り入れ、食を通して地域や文化に触れる機会を設けている。「献立総選挙」は、保護者も参加する形で行い、家庭と園と一緒に献立を考える取組となっている。3月には年長児によるリクエスト献立を実施し、園生活の中で親しんできた食事を振り返りながら、「もう一度食べてみたい」という思いを大切にする機会となっている。さらに、野菜の購入や皮むき、クッキング活動など、日常の中で食材に触れる経験を通して、食べることへの関心や親しみを育む環境を整えている。</p> |   |           |

|  |  |                           |
|--|--|---------------------------|
| 7 評価項目7<br>子どもが心身の健康を維持できるよう指導・援助している  |  | 評点(〇〇〇)                   |
| 評価   | 標準項目   |                           |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように指導・援助している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づき対応をしている           | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし   | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っている        | <input type="radio"/> 非該当 |
| 評価項目7の講評   |  |                           |
| <p>自分の身体と安全に目を向け、健康や安全を守る行動を身につけられるよう指導している</p> <p>日常の保育やお集まりの時間を通して、病気やケガの予防について伝えている。手洗いや鼻のかみ方、咳エチケット、排便後の処理については、手順だけでなく理由も知らせている。鼻かみや衣服の整えなどの援助の前には、今から行うことを伝え自覚につなげるほか、鏡とウェットティッシュを用意して、口のまわりの清潔を自分で保持する習慣を身につけられるようにしている。プライベートゾーンについても、理解に応じて話し、身体の仕組みに関する絵本や紙芝居を読み聞かせ、関連する絵本を保育室に置くことで、関心を持てるように配慮している。</p> <p>子どもの健康状態を把握し、保護者へ保健情報をわかりやすく伝えている</p> <p>日々の視診や連絡アプリに入力された内容から、子どもの健康状態を把握し、看護師と保育者が連携を図り、保護者とも連絡を取りながら対応している。健康診断は、0歳児では月2回、それ以外の年齢では年2回実施している。保健的な配慮が必要な場合には、専門機関や嘱託医と連携し、必要に応じて園で与薬を行っている。保護者に対しては、毎月発行する保健便りや連絡アプリのメール機能を用い、季節や時期に応じた健康情報を発信している。感染症が発生した際には、速やかに状況や留意点を伝え、家庭での対応につなげられるよう配慮している。</p> <p>子どもの健康と安全の維持に向け、事故や災害への備えに取り組んでいる</p> <p>毎月、各部門で事故防止のチェックを実施し、自分たちの保育室以外の場所についても確認するとともに、玩具の消毒や室内の温度・湿度管理と換気、猛暑時の活動内容の見直しに取り組んでいる。睡眠時には、決められた間隔で子どもの様子を確認しており、けいれん及びアナフィラキシーショック、不審物や園内での子どもの行方不明をそれぞれ想定した、緊急時対応訓練も設けている。避難訓練後には、担当者が振り返りを行い、訓練のねらいや行動の意味を子どもに説明しており、総合避難訓練では、一時避難所となる公園まで実際に出かけている。</p> |  |                           |

| 8 評価項目8<br>保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている  |   | 評点(〇〇〇〇〇) |
|--|---|-----------|
| 評価   | 標準項目  |           |
| ●あり ○なし  | 1. 保護者には、生活形態や子育ての考え方の違いなど、個々の事情に配慮して支援を行っている | ○非該当      |
| ●あり ○なし  | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている                        | ○非該当      |
| ●あり ○なし  | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている                | ○非該当      |
| ●あり ○なし  | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている     | ○非該当      |
| ●あり ○なし  | 5. 保護者の養育力向上のため、園の教育・保育の活動への参加を促している          | ○非該当      |
| 評価項目8の講評   |   |           |
| <p><b>家庭の状況に応じた配慮を行い、保護者の育児と就労を支援している</b><br/>           日々の送迎時の会話やアプリ連絡帳のやり取りを通じて、各家庭の生活状況や子育ての意向を把握するとともに、関係職員間で確認し、必要な支援や配慮に反映させている。また保護者の体調不良時や妊娠期には玄関対応を行うなど、無理のない利用につながるよう工夫している。延長保育は月極とスポットの利用に対応し、急な残業等にも柔軟に対応している。行事も土曜日開催を基本とし、年度当初に年間行事予定を知らせるほか、毎月の便りで直近の予定を伝えることで、保護者が見通しを持って日程調整しやすいよう配慮している。</p> <p><b>交流の機会を設け、保護者同士がつながりを持てる場を用意している</b><br/>           保護者同士が関係を築けるよう、さまざまな交流の機会を設けている。保護者会では、参加者を少人数のグループに分け、子育てについて話し合う時間を設定することで、日頃感じている悩みや関心事を言葉にしやすい場としている。また「親子で遊ぼう会」では、保護者が園での生活や遊びを実際に体験し、互いに声をかけ合い、言葉を交わす機会となっている。夏祭りでは、親子で回るゲームコーナーや盆踊りを通して、保護者と子どもが一緒に楽しんでおり、「もりフェス」では運動遊びやダンスを親子で体験し、参加者同士が関わる場となっている。</p> <p><b>子どもの育ちや保育の考え方を保護者に伝え、共通理解の進展を図っている</b><br/>           子どもの育ちや保育の考え方について、保護者にわかりやすく伝えることを大切にしている。年度当初の各フロア便りで、各年齢の年間の目標や大切にしたいことを発信し、年1回の保護者会では、成長の振り返りと次年度への見通しを伝えている。個別面談や保育見学は、希望に応じて実施し、園での子どもの姿と家庭での様子を伝え合っている。保護者会では資料を用い、園での生活や子どもの姿、発達の特徴、保育で大切にしていることを説明しており、育児の参考となる情報を継続的に伝える機会として、保健や食事の各便りも活用している。</p> |   |           |

|   |  |        |
|---|--|--------|
| 9 評価項目9<br>地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている  |  | 評点(〇〇) |
| 評価  | 標準項目   |        |
| ●あり ○なし   | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している                     | ○非該当   |
| ●あり ○なし   | 2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | ○非該当   |
| 評価項目9の講評  |  |        |
| <p>地域資源を活かし、生活や学びにつながる体験の機会を設けている</p> <p>身近な地域資源を保育に採り入れ、子どもが生活や学びにつながる体験を重ねられるように努めている。近隣の公園への散歩や遊び、商店街やスーパーでの食材購入など、日常の生活圏を活かした活動を設けている。練馬区内の農園では、農家と連携してジャガイモ掘りを行い、土に触れて収穫する体験を通じて、子どもたちの食への関心を深めている。また区内施設を活用したプラネタリウム鑑賞や防災センターでの起震車体験、小学校見学なども実施し、子どもが社会や自然、将来の生活に目を向ける機会となるようにしている。</p> <p>子どもたちが多様な人や文化と出会い、関心や視野を広げる体験の機会を整えている</p> <p>上記の園周辺での園外活動は、地域住民や各店舗・施設の方など、職員以外の大人の方と子どもたちがふれ合う機会となっている。また英語の活動も設けられ、講師の方と楽しく英語に親しみながら、海外の文化に親しんでいる。地域支援「なかよし子育て広場」で来園する地域の親子や、実習生・学生ボランティアの方も随時来園し、地域の親子とはその日の活動や行事などを一緒に楽しみ、実習生や学生とは、一定期間生活と保育をともにする中で、関係を深めるなど、子どもたちが多様な人や文化と出会い、関心や視野を広げる体験の機会を整えている。</p> |  |        |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① |   |                              |
|--------------------|---|------------------------------|
| 評価項目               | 3-3-2   | 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている |
| タイトル①              | 地域子育て支援事業を通して、園の専門性を地域に届ける仕組みを設けている   |                              |
| 内容①                | 地域子育て支援事業「なかよし子育て広場」や一時保育事業を実施している。なかよし子育て広場は、地域の方に園の存在や保育の専門性を知ってもらうとともに、園が培ってきた知見を地域の子育て世帯に還元することを目的とし、保育教諭や看護師・栄養士による育児相談、身体測定・制作活動などをテーマに、月2回程度開催している。広報用の開催案内も作成し、園の保育の特徴や公式SNSの情報も掲載して、近隣の医療機関や行政機関、市中の掲示板等で発信しており、同広場とともに、認定こども園移行後の当園への認知の向上にも活かしている。 |                              |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② |  |                                   |
|--------------------|--|-----------------------------------|
| 評価項目               | 2-1-1  | 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している |
| タイトル②              | 保護者の意向を多様な方法で積極的に把握し、運営・サービスの改善に反映させている  |                                   |
| 内容②                | 保護者の意向を積極的に収集しており、日々の交流・面談や保護者会、行事後の感想収集に加え、折に触れてアンケートを行っている。行事の充実を望む声を受け、「もりフェス」の小学校の体育館での開催を今年度再開させるなど、寄せられた意向の運営・サービスの改善への反映にも努め、直近では日々の保育活動や行事について、「よい（よかった）と思うこと」や翌年度に行ってほしいことを把握している。法人でもアンケートを設け、各園で第三者評価受審年度以外に実施しており、経営の持続性を高めるべく、利用者の満足度やニーズの把握に努めている。 |                                   |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ |  |                                     |
|--------------------|--|-------------------------------------|
| 評価項目               | 6-5-2  | サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している |
| タイトル③              | 子ども一人ひとりの発達や生活の違いを踏まえた保育や支援に取り組んでいる  |                                     |
| 内容③                | 遊びや食事、睡眠では、子どもの生活や生体のリズムを尊重し、できたかどうかではなく、一人ひとりの興味や意欲、自分でやろうとする姿を保育者が肯定的に受けとめ、共感を伝えている。また3歳未満児には毎月個別の指導計画を作成し、発達の状況に応じた援助を行うとともに、発達の特性などから配慮が必要となる子どもにも、保護者と連携して個別の指導計画を作成し、専門家からの助言も参考にしながら対応している。入園時には、食物アレルギーや熱性けいれんの既往など、体質面で配慮を要する場合に面談を行い、園でできる配慮を確認している。 |                                     |

| No. | 特に良いと思う点     |  |
|-----|--------------|--|
| 1   | タイトル         | 子どもの選択や関係性を尊重し、異年齢のつながりや自然との関わりを通じて、多様な経験を一人ひとりの育ちの糧としている  |
|     | 内容           | 各年齢で、遊びの時間や場所、関わる仲間を子ども自身が選択できる環境を整えることを大切に、日々の園生活を主体的に過ごせるよう配慮している。異年齢での関わりも日常的に見られ、年齢の違いを活かしながら、遊びや関係が広がっている。音楽劇をはじめ、日々の保育の中で取組を重ね、つながりを持った経験・育ちとして行われる行事・活動、園庭の多様な遊具や散歩先で触れる身近な自然を活かした、健やかな身体と豊かな感受性の育みなどにおいて、保育者は子どもの行動や言葉に寄り添い、自発的な興味と意欲を尊重した関わりに努めている。     |
| 2   | タイトル         | 子ども一人ひとりの意欲を大切にしながら、乳児期から幼児期へと続く生活の中で「食べること」を支える食育に取り組んでいる   |
|     | 内容           | 日々の生活の中で、食事は一斉に提供するのではなく、子どもそれぞれの発達段階や意思・意欲を尊重した進め方としている。幼児室では年齢ごとに食具を用意するなど、心身の成長に応じた準備を行い、乳児期の子どもについては、離乳食を一人ひとりの段階に合わせて提供し、家庭と情報を共有して進めている。乳児期から幼児期へと続く日々の食事を、生活を支える営みとして大切にしており、野菜に触れる体験や簡単なクッキングを行う中で、子どもたちが食材に親しみ、食への興味を深めることで、食べることがより身近で楽しいものとなるようにしている。 |
| 3   | タイトル         | 行事は日常の保育とのつながりを大切に、子どもたちが人との関わりやさまざまな思いを経験しながら成長できるよう企画・実施している   |
|     | 内容           | 日々の園での活動や行事を通じて、季節や生活と結びついた、子どもたちの多様な経験がなされている。行事は日常の保育とのつながりを大切に企画・実施し、保育者や友達と関わる中で、気持ちを調整したり、場の雰囲気を感じ取ったりする場面も重ねられている。行事に向かう過程では、期待や戸惑いなど、子どもそれぞれの思いを体験し、保育者はそれらの姿を受けとめ、応答的に関わることを基本としている。年長児には書き初めなどの文化的な活動を含め、それまでの育ちを踏まえた活動を用意し、その子なりの取り組み方を大切にしながら援助している。  |
| No. | さらなる改善が望まれる点 |  |
| 1   | タイトル         | 社会に求められ続ける園であるべく、在園・在宅ともに子育て家庭を多様に支援し、地域の拠点としての機能を高めてゆくことを目指している   |
|     | 内容           | 少子化の影響により、地域内でも園児の確保が慢性的な課題となりつつある中で、昨年度からの認定こども園への移行のほか、積極的な保護者の意向の把握と、それらの行事その他の改善への反映など、運営全般で利用者ニーズへの対応に努めている。今般の利用者調査結果を踏まえ、散歩等の戸外活動や行事のさらなる充実や、その保護者への発信のほか、地域向けの「なかよし子育て広場」の拡充も視野に入れている。在園・在宅を問わない子育て支援の拠点、さらに長期的には地域のコミュニティの核となるべく、必要な方策の模索を続ける意向である。     |
| 2   | タイトル         | 理想とする現場主体の園運営の基盤として、園の当面の課題や近未来像を職員とともに考え、計画的に進めてゆく仕組みづくりが期待される  |
|     | 内容           | 組織のマネジメントにおいては、各クラス運営や行事、地域子育て支援など、園の諸活動をそれぞれの担当者の主体性に委ねることを旨としている。さまざまな場面で職員が自ら考え、行動する、現場の主体性の発揮を通じて、職員が保育や仕事を楽しむ文化が根つき、そのことが保育全般の質もより高める、好循環の実現を目指している。その基盤の一つとして、上記の求められ続ける園づくりに向けた取組や目標など、園の当面の課題や近未来像を職員とともに考え、中・長期と年度の各計画にも反映させ、組織全体で進めてゆく仕組みを整えることも期待したい。 |
| 3   | タイトル         | 園の安全対策を保護者に発信し、安心と信頼につなげる工夫や、ヒヤリハットの収集・検証による事故リスク把握の活性化を期待したい  |
|     | 内容           | 利用者調査の安全対策に関する質問では、前回受審時との比較で支持率が改善しているが、値としてはさらなる伸びしろもうかがえる。日々の事故防止対策や防災・防犯訓練のほか、けいれん・アレルギー事故等の種々の緊急事態を想定した訓練など、多様な取組を行っており、これらを網羅した安全計画とともに、園の活動を保護者により意識的に発信し、評価と信頼を高めることも一考されたい。またいわゆるヒヤリハットの収集・検証の活性化を図り、自由意見で保護者から懸念が示されるケガの防止など、現場のリスクセンス向上に活かすことも期待される。  |